

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ヒビノ株式会社

コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) ヒビノGMC経営企画本部長

(氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,855	1.4	347	3.5	296	△2.7	172	△1.5
25年3月期第1四半期	3,802	39.4	335	—	304	—	174	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 203百万円 (7.6%) 25年3月期第1四半期 189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	34.97	34.90
25年3月期第1四半期	35.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,309	4,179	31.4
25年3月期	12,828	4,049	31.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,179百万円 25年3月期 4,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	0.1	560	7.9	500	13.9	250	25.0	50.81
通期	15,500	2.2	870	15.1	750	29.9	350	35.7	71.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	5,047,840 株	25年3月期	5,047,840 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	127,628 株	25年3月期	127,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	4,920,216 株	25年3月期1Q	4,935,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び金融政策への期待感から円安、株高が進行し、輸出関連企業を中心に景況感は回復傾向にありますが、一方で円安に伴う輸入価格の上昇や海外景気の下振れ懸念等国内景気を押し下げるリスクが存在することから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループ(当社及び連結子会社7社)は、中期経営計画「Action 50」の実現に向けた重点施策として、M&A等を活用した事業の補強と拡大に取り組んでおります。「音響」と「映像」、「音楽」、「ライブ」という4つの要素を当社グループの競争力の源泉ととらえ、当第1四半期に老舗ライブハウス「ケネディハウス銀座」を運営する株式会社エィティスリーを子会社化したほか、舞台照明・音響機器の輸入販売を行う株式会社ファーストエンジニアリングを連結子会社化することとし、顧客基盤の強化及び既存事業とのシナジーによる付加価値の向上を図っております。

当第1四半期連結累計期間は、企業の設備投資や販促投資が戻りつつあるなかで、市場環境は全般的に明るさを増してきております。なかでもコンサート・イベント事業がコンサート案件を中心に好調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面につきましては、営業利益は前年同四半期と比べ増加しましたが、経常利益及び当期純利益は円安影響による為替差損の計上等により若干減少いたしました。

これらの結果、売上高3,855百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業利益347百万円(同3.5%増)、経常利益296百万円(同2.7%減)、四半期純利益172百万円(同1.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[音響機器販売事業]

音響機器販売事業は、大型案件が集中した前年同四半期と比べ売上高は減少しましたが、景気回復と歩調を合わせるように市場は活発化しており、取扱い輸入ブランド商品の販売が好調に推移いたしました。一方、円安影響により仕入価格が上昇したことが利益のマイナス要因となりました。

これらの結果、音響機器販売事業の売上高は1,426百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、新興国製LEDディスプレイ・システムの台頭による競争激化など予断を許さない状況に変わりはありませんが、顧客企業において設備投資再開の動きが出始めるなど案件の引き合いは増加傾向にあり、徐々に明るさを感じられるようになってきております。こうした状況下、当第2四半期以降の大型案件の獲得に向け、より他社と差別化した提案型営業を鋭意推進いたしました。

これらの結果、映像製品の開発・製造・販売事業の売上高は84百万円(前年同四半期比51.4%減)となりました。

[コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、コンサート市場を中心に引き続き好調さを堅持しており、人気アーティストの大型コンサートツアーを多数獲得いたしました。特にコンサートにおける映像演出は、多様化かつ大画面化の流れが加速しており、一案件当たりの受注規模も拡大の一途を辿っております。さらに、上海モーターショーをはじめとした大型案件の獲得や、前連結会計年度より連結子会社となった株式会社ベスコの業績貢献により、対前年同四半期比で増収増益となりました。

これらの結果、コンサート・イベント事業の売上高は2,344百万円(前年同四半期比10.4%増)となりました。

[その他の事業]

その他の事業の売上高は、ありませんでした(前年同四半期は、売上高はありませんでした)。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は13,309百万円となり、前連結会計年度末と比べて480百万円増加しました。これは商品及び製品並びに仕掛品が増加したことが主な要因であります。

負債合計は9,130百万円となり、前連結会計年度末と比べて350百万円増加しました。これは短期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は4,179百万円となり、前連結会計年度末と比べて129百万円増加しました。これは利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想については、当第1四半期における業績が計画を上回って推移しておりますが、平成25年5月13日に「平成25年3月期 決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。なお、今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,442,246	1,399,131
受取手形及び売掛金	3,185,767	3,209,443
商品及び製品	1,371,002	1,559,633
仕掛品	168,688	339,249
原材料及び貯蔵品	207,076	206,348
その他	664,361	738,671
貸倒引当金	△26,830	△27,007
流動資産合計	7,012,313	7,425,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,257,433	1,259,226
減価償却累計額	△776,631	△787,005
建物及び構築物(純額)	480,801	472,220
機械装置及び運搬具	6,251,316	6,383,820
減価償却累計額	△4,657,794	△4,748,050
機械装置及び運搬具(純額)	1,593,522	1,635,769
工具、器具及び備品	774,293	773,240
減価償却累計額	△620,688	△627,915
工具、器具及び備品(純額)	153,604	145,324
リース資産	2,361,606	2,350,384
減価償却累計額	△1,050,240	△1,106,730
リース資産(純額)	1,311,365	1,243,653
その他	520,057	682,969
有形固定資産合計	4,059,351	4,179,938
無形固定資産		
のれん	94,803	85,933
その他	58,978	54,206
無形固定資産合計	153,782	140,140
投資その他の資産		
その他	1,786,638	1,745,599
貸倒引当金	△183,262	△181,481
投資その他の資産合計	1,603,375	1,564,118
固定資産合計	5,816,509	5,884,196
資産合計	12,828,822	13,309,668

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791,188	928,791
短期借入金	1,230,000	1,930,000
1年内返済予定の長期借入金	1,172,126	1,104,124
リース債務	427,405	430,726
未払法人税等	192,382	33,343
賞与引当金	326,549	175,947
その他	796,575	931,702
流動負債合計	4,936,227	5,534,634
固定負債		
長期借入金	1,947,878	1,778,326
リース債務	991,740	910,020
退職給付引当金	827,785	831,460
資産除去債務	13,685	13,723
その他	62,329	62,329
固定負債合計	3,843,419	3,595,861
負債合計	8,779,646	9,130,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,721,487	1,721,487
資本剰余金	2,074,601	2,074,601
利益剰余金	416,828	515,090
自己株式	△76,889	△76,911
株主資本合計	4,136,027	4,234,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,595	12,609
繰延ヘッジ損益	293	△363
為替換算調整勘定	△97,740	△67,340
その他の包括利益累計額合計	△86,851	△55,094
純資産合計	4,049,176	4,179,172
負債純資産合計	12,828,822	13,309,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,802,441	3,855,262
売上原価	2,423,659	2,444,050
売上総利益	1,378,781	1,411,212
販売費及び一般管理費	1,043,483	1,064,052
営業利益	335,298	347,159
営業外収益		
受取利息	212	406
受取配当金	1,003	1,053
仕入割引	2,484	3,048
為替差益	3,426	—
その他	7,892	3,621
営業外収益合計	15,019	8,130
営業外費用		
支払利息	28,207	29,413
持分法による投資損失	12,379	18,944
為替差損	—	8,524
その他	5,431	2,332
営業外費用合計	46,018	59,215
経常利益	304,299	296,075
特別利益		
固定資産売却益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産売却損	1,878	—
固定資産除却損	3,017	—
特別損失合計	4,896	—
税金等調整前四半期純利益	299,411	296,075
法人税等	124,646	124,009
少数株主損益調整前四半期純利益	174,764	172,065
四半期純利益	174,764	172,065

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,764	172,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,208	1,949
繰延ヘッジ損益	1,085	△657
為替換算調整勘定	14,969	30,399
持分法適用会社に対する持分相当額	△232	64
その他の包括利益合計	14,614	31,756
四半期包括利益	189,378	203,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,378	203,822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。